

農家のための
最新情報あぐり
最前線

※防除薬剤の数字は、安全使用基準【希釈倍数・（収穫何日前まで使用可能か／通算使用可能回数）】を表しています。農薬安全使用基準を守り、使用してください。

水稲



冬期は次年度の栽培における準備期間です。

●土づくり

近年発生が多く問題となっている高温障害を防ぐ方法のうち、最も大切なのは「土づくり」です。

●土づくりのポイント

ケイ酸・鉄を含む資材を施用しましょう。

・農力アップ（100 kg／10 a）

＊毎年実施しています定点分析において、市内の水田土壌で、水稲栽培に重要な微量成分である「ケイ酸」「鉄」の両方もしくは一方が不足している傾向にあります。土壌診断を実施し、効率的な土づくりを行いましょう。

●耕起

越冬害虫である「ヒメトビウンカ」及び「ジャンボタニシ」は、次年度の栽培

に悪影響を及ぼします。圃場密度を低下させるため、耕起を必ず行いましょう。

①ヒメトビウンカが媒介するウイルスによって綿葉枯病が発生します。水田内の「ひこばえ」「稲ワラ」をすき込むことで密度を低下させることができます。



ヒメトビウンカ



綿葉枯病

②ジャンボタニシは、冬期は土壌中に潜って越冬します。耕起することで、貝を物理的に粉碎し、また寒風にさらすことで凍死させることができます。



ジャンボタニシ(成虫)



ジャンボタニシ(卵塊)

キャベツ



●定植

▽12月1日～1月20日

※石井中早生

▽12月20日～1月30日 ※YR春空

●病害虫防除（本田防除）

▽12月上旬 ※星岬SP・恋岬SP

・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）

・トランスフォーム（フ） 2000倍（前日／3回）

・バリダシン（液）5 800倍（7日／5回）

▽12月中旬 ※春のかほりSP①

▽12月下旬 ※春のかほりSP②

・フエニックス（顆） 2000倍（前日／3回）

・コルト（顆） 400倍（前日／3回）

・キノンドー（フ） 1000倍（14日／3回）

●追肥

▽12月上旬

※恋岬SP・春のかほりSP①②③

・ニューパワーユーキ262（40 kg／10 a）

または

・エコレット266（40 kg／10 a）

●収穫

▽11月1日～12月15日 ※星岬SP

▽12月10日～1月31日 ※恋岬SP

ハクサイ



●病害虫防除（本田防除）

▽12月上旬 ※12月穫り品種

・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）

・トランスフォーム（フ） 2000倍（3日／3回）

・バリダシン（液）5 500倍（3日／3回）

▽12月下旬

※年明け穫り品種・防寒ハクサイ

・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）

・トランスフォーム（フ） 2000倍（3日／3回）

・ピシロック（フ） 1000倍（前日／3回）

●追肥（結球開始期）

・ニューパワーユーキ262（80 kg／10 a）

または

・アズマツプ545（60 kg／10 a）

●石灰欠乏（アンコ）対策

乾燥が続くと発生しやすいので、適宜灌水とパフォームCa（500倍）を葉面散布してください。

ブロッコリー



●定植

▽11月20日～12月10日

※緑竜・グランドーム

●病害虫防除（本田防除）

▽12月中旬 ※緑竜・グランドーム

・グレイシア（乳） 2000倍（7日／2回）

・ウララDF 2000倍（前日／2回）

・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）

◎べと病

下葉の裏から発生し、暗緑色で小さな病斑が生じます。後に拡大して淡黄色となり、葉裏は白い霜状のカビが生えます。やがて上葉に広がり、花蕾にも発生することがあります。春と秋の気温が低いときや降雨が続くと発生が多くなります。

風や雨によって伝染していくので、予防に努めてください。

・ランマン（フ） 2000倍（3日／3回）

・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）

●追肥（花蕾発現期）

・ニューパワーユーキ262（80 kg／10 a）

または

・エコレット266（80 kg／10 a）

※4～5月穫りの緑竜・グランドームは、霜よけ対策としてパオパオ掛けを行ってください。

●収穫

▽11月15日～12月15日 ※おはよう
▽12月1日～1月30日 ※こんには

ダイコン



収穫も本番を迎え始めます。収穫にあたっては適期を逃さず若穫り（L・2L中心）を心掛けてください。指定品種「福誉」は、12月中旬以降の収穫でアントシアンが生じることがあります。肥料切れが症状を助長するので注意してください。

●病害虫防除

◎アブラムシ類

・ウララDF 200倍（前日／2回）

または

・トランスフォーム（フ） 200倍（前日／3回）

◎白さび病（わっか症）

・ランマン（フ） 200倍（3日／3回）

または

・ピシロック（フ） 100倍（前日／2回）

新ショウガ



促成栽培では、定植の準備が始まっています。定植する40日前までに完熟した有機資材を施用し、深耕整地を行ってください。

連作障害（根茎腐敗病など）の発生が見られる圃場では、「クロピク80（2／3ml／穴）」「ソイリン（20／30／10a）」「ディ・トラベックス油剤（20／40／10a）」などで必ず土壌消毒するとともに、バリアスター等（難透過性フィ

ルム）を使用して効果を高めてください。なお、低温時期の処理になるため、ガス抜きを十分行ってください。

なお、右記の土壌消毒剤は除草効果が弱いので、雑草防除として「トレファノサイド粒剤2.5（6kg／10a）「全面土壌散布」を植え付け直後に施用しましょう。

●元肥

省力型

・スーパーエコロング413（140日）（220kg／10a）

・ケイ酸加里（60kg／10a）

標準型

・わかやまプレミアム配合（240kg／10a）

・ケイ酸加里（60kg／10a）

使用する種イモは、小さくてもしまりが良く、病害虫に侵されていないものを100～150gの大きさで使用してください。＊収穫までに180日を超えないように定植してください。

シシトウ



11月上旬から加温栽培の育苗がスタートし、順調に生育していれば第2回目の移植作業が始まります。

2回目の移植は、1回目の移植後22～30日、本葉4～5枚程度の頃に行います。労力や苗床に余裕が無ければ鉢に移植し、苗が大きくなるとともに、鉢の間隔を広げてください。苗床へ移植する場合、移植間隔は12～15cmです。

病害虫については、早期発見・早期防除を心掛けてください。

ピーマン



育苗や植え付け準備の時期が近づいています。定植後の活着とその後の生育が良好な、株張りのよい苗を生産することが重要です。

●育苗

苗の鉢上げ後の温度は、日中は27～28℃で管理しましょう。夜温は移植時で16～18℃を目標とし、その後は徐々に下げ、最終14℃前後にすることで、植え傷みが少ない苗に仕上がります。多照を好むので、育苗中はできるだけ日光に当てるように管理しましょう。

●圃場の準備

ピーマンは、土壌の排水が良く、保水力のあるものが適しています。定植前に完熟堆肥を施用し、深耕するように心がけましょう。定植の2～3週間前に元肥を全面に施用してください。

カキ



今月の作業は落葉処理です。

収穫も終わり、カキ園の整理の時期となりました。今年、落葉病・うどんこ病が発生した園では、特に落葉の処理が重要です。落葉を焼却するか、園内に埋めてください。

有機物の補給を考えると、できるだけ園内に埋めましょう。有機物の量が少ないと、土壌が硬くしまり、根の分布している層へ水・空気・肥料が届かなくなります。良い園地をつくるには、有機物を

投入するのが最も効果的です。

葉が残っている時期に、間伐、縮伐を行います。隣の樹と枝先が交差し始めた間伐・縮伐の目安です。間隔は、樹と樹の間を、傘をさして歩ける程度です。間伐することで大玉・秀品の生産につながり、作業効率も上がります。

ミカン



中晩生ミカンの収穫期を迎えました。

着色と酸を吟味しながら収穫しましょう。近年は、収穫時期の高温多湿で浮き皮の発生が増えていきます。収穫が遅れると浮き皮も助長されますので適期収穫を心掛けましょう。また、風雨等の影響によるキズ・スレで腐敗果が多くなりますので選果に注意してください。

マルチ栽培・フィガロン散布・着果過多等で樹勢が弱っている園では、収穫後樹勢を回復させるために、チッソ系（尿素）液肥500倍を2～3回程度、葉面散布してください。なお、比較的暖かい日に行うことで、吸収力が高まります。

中晩柑の収穫は年明けが中心です。10日以上雨がなく、土壌が乾燥状態の場合は灌水しましょう。過度の乾燥は、酸高になりますので注意してください。

ウメ



12月中旬頃になると花芽の休眠期に入ります。剪定作業は遅れないようにしましょう。

剪定は、主枝2〜3本として先端の枝は強く切り返し、亜主枝は1枝に2〜3本を残し先端は弱く切り返ししましょう。また、側枝は長く使っていると樹形を乱す原因となるため、3〜5年で側枝の更新を行いましょ。

モモ

落葉が終わり、整枝・剪定作業の時期です。

剪定は大枝から始め、不必要な徒長枝をはずし、主枝の先端は切り返し剪定します。側枝は先端に近いほど小さく、主幹に近いほど大きくします。立枝・平行枝・内向枝など、樹冠内へ日光が入るのを妨げたり、樹形を乱す枝を剪定してください。結果、枝が込み合わないようになり間引きます。徒長枝や長果枝が多いときは間引き剪定を中心に行い、樹勢を落ち着かせます。短果枝が多くなったり、側枝が下垂してきたときは、樹勢を回復させるために、切り返し剪定を中心に行ってください。切り口の大きな剪定痕には、乾燥や病害虫侵入による枯れ込みを防ぐため癒合剤（トップジンMペースト）を塗布します。切除した枯れ枝は病原菌やカイガラムシの越冬源となるので、園外に処分しましょう。

土壌分析をしましょう！

土壌分析を希望する方は、乾燥させた200g程度の土を袋に入れ、住所・氏名・電話番号と品目名（水稲・キャベツ・ミカン等）を記入し、12月12日（金）までに各営農センターまでご持参ください（1点500円）。分析結果は1月中旬ごろにご連絡いたします。

地域の活動も
お届けします！

ふれあい TOPICS

10月16日は

国消国産の日！

国民が必要とし消費する食料は、
できるだけその国で生産する
という考えを広げるため、
全店舗で一斉周知活動を実施しました。



支店



営農センター



**JAわかやま
こだわりごはん**

和歌山県産こだわり米
「にこまる」100%使用
3パック
660円（税込）

お買い求めは、支店・営農センター・愛菜てまりっこまで



農産物直売所
「愛菜てまりっこ」

令和7年度JAわかやま寄付講義第2回講座 JA・和歌山市職員が教壇に立つ



和歌山市 農林水産課
主事 岡室奏志



JAわかやま 西部営農センター
経済渉外担当 松尾祐希

和歌山大学で開いた令和7年度JAわかやま寄付講義の第2回講座は、わかやま地域・和歌山市職員が講師を務めました。コロナ禍を経て食の関心が高まりつつある一方、第1次産業は消費者、特に若年層の目に届きにくく、関心が薄い現状が続いています。管内の農業の現状や特性、JA、市の取り組みについて理解を深めてもら

うことが目的です。

寄付講義はリカレント教育の一環で、前年度のJA受講生が本年度に講師となる人材育成システムを採用しています。西部営農センターの松尾さんと、産官学連携で市農林水産課の岡室さんが登壇しました。

2人は同大学の卒業生。令和6年度寄付講義で9割の受講生が「JAの仕組み、市内の農業を知らない」と答えたのを受け、松尾さん、岡室さんとも「後輩に知ってもらいたい」と名乗り出ました。松尾さんは、今年4月に誕生した県1JAの概要と各事業のほか、6次産業化や地域貢献活動などわかやま地域の多様な取り組みを解説。風土を活かした農産物も紹介し、「大学付近でも農家は約200件。思ったより近くに農業がある」と話し、「ぜひ地元の農産物を食べ、国産産物を後押しして欲しい」と呼び掛けました。

岡室さんは、市の人口・農家減少、高齢化率の上昇など現状を踏まえつつ、「市は豊かな土壌に恵まれ、農業の収益が確保され続ければ担い手も続く」と、市が行うサポート体制などを紹介。受講した学生からは「農業促進は地域経済の発展に繋がる。注目していきたい」など声が挙がりました。

植えて、採って、食べて
食との繋がりを学ぶ

管内5校の小学校が稲刈り体験、まつえ幼稚園はサツマイモ収穫体験を実施しました。営農センター職員や地元農家から収穫方法などを教わり、初めての収穫に興味津々。「食べるのが楽しみ」と、食との繋がりを肌で感じていました。



小倉小学校は1月の収穫に向け、秋冬野菜苗を植え付けました。大きく育った野菜が楽しみです。



アンパンマンたちと学ぶ
JA共済交通安全キャラバン

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

JAわかやまわかやま地域本部とJA共済連は、和歌山県民文化会館大ホールで「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開きました。地域貢献活動の一環として、次世代を担う子どもたちの未来を守ることが目的です。約2,000人が参加しました。

開会で半田地域本部長が「大好きなアンパンマンと一緒に楽しく交通安全を学習してください」とあいさつ。歓声に包まれながら登場したアンパンマンたちと一緒に、子どもたちは歌や踊りを交えて交通ルールを学びました。

キラキラ女性会

女性大学第9回講座・閉校式



卒業生は「毎講座、新発見だった」など感想を発表しました。1年間、ありがとうございました！

卒業生は「学んだことを日常生活に活かして欲しい」と、女性会わかやま地域本部の堀川会長は「出会った仲間とのご縁を大切にしてください」とメッセージを贈り、卒業証書と記念品を受け取った。



女性大学第12期の最終回はフロアリストの山田理代氏を招き、**ウオールプランツ作り**を学びました。多肉植物を寄せ植えた木箱にワイヤーを通して壁に飾り、部屋を彩ります。栽培管理の方法も学び、皆さん高い関心を示していました。

今回は18人の受講生が卒業しました。閉校式では半田地域本部長が

楠見支部



楠見連絡所でポーセラーツを体験しました。ガラスの器に転写紙を使って絵柄をつけ、窯で焼き付けます。コップやコーヒーカップ、絵柄も種類が盛りだくさん。講師の指導を受けながら組み合わせを吟味して、納得いく作品が出来上がりました。完成品を見て「かわいい！」と大満足でした。

フレッシュミズはるか交流会

中央営農センターでスマホストラップ作りを楽しみました。講師は有功支部の川尻さとみさんが務めました。

カラフルなロープ紐を「平結び」か「ねじり結び」で頑丈に編み込んでいきます。結び方は結構難解。「時間内に終わるかな」と不安の声もありましたが、講師の手ほどきと会員同士のサポートであつという間に完成です。オシャレでしつかりとした作りは、アウトドアでも活躍しそうです。



女性会わかやま地域本部 フードドライブ

12月は南ブロックの助け合い強化月間です。ご提供いただける食品がありましたら、**12月15(月)～22日(月)**の間に最寄りの支店・営農センターまで、ぜひ、お願いいたします。

愛菜てまりっこ 12〜1月

12月10日(水)
てまりっこの日
月に一度の大特価!12月13日(土)まで
お歳暮フェア12月24日(水)〜25日(木)
クリスマスフェア旬の農産物がお得な価格で勢ぞろい!
愛菜てまりっこのからの
クリスマスプレゼント☆レジにてお会計をして
いただいた小学生以下のお子さまは、
お菓子すくいを1回チャレンジ!12月26日(金)〜30日(火)
歳末感謝セール(8時30分開店)1年を締めくくる大売出し!!
年末年始の準備は愛菜てまりっこので
決まり!12月28日(日)は全店営業!
12月30日(火)は16時までの
営業とさせていただきます。1月6日(火)
初売り!

新年初営業!

Instagramで
お得な最新情報を
発信中!

無料相談会

弁護士無料法律相談会

権利・示談・債務・相続...など、組合員の
皆さまの法的な相談に、弁護士が直接対
応します。

「開催日時」毎月第4木曜日

9時30分〜12時(お一人様30分程度)

「開催場所」わかやま地域本部2階第3会議室

12月の開催日は12月25日(木)です。

相談には予約が必要です(先着5組)。最
寄りの支店またはわかやま地域本部総務部
(☎471-3731)までお問い合わせ。
お申し込みください。

なお、次の開催予定は1月22日(木)です。

年金相談会／相続・遺言相談会

社会保険労務士・税理士が直接ご対応いた
します。事前予約が必要です。開催支店
にお問い合わせ・お申し込みください。

「開催日程」

1月15日(木) 宮前支店

☎476-5511

開催時間は10時〜15時です。

ローン相談会

住宅ローン・リフォームローン・カーロ
ン・教育ローンなど。借換、お見積り、お気
軽にご相談ください。

・わかやまローンセンター(JAビル支店隣)

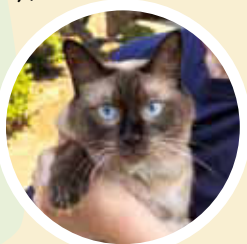
☎423-4160

平日(9時〜17時・日曜(10時〜16時)

MY FAMILY

レオくん(1オ・シャム猫風雑種)

湯川幸子さん(上野)

レオは癒しの
存在。いつま
でも健康でい
て欲しいです。この時は気分が乗らなかったのか、何とも言えない
表情に(笑)。名前は夫婦で覚えやすさ、呼びやすさ
で決定。でも、長生きした先代の名前で呼んでしま
うことも。一年経ち、ようやく馴染んできたそうです。来訪者を見ると一目散に逃
げてしまう人見知り発動中の
レオくん。去年の9月に湯川
家にやってきた育ち盛りの元
気っ子です。
きっかけは情報誌の譲渡欄。
21年間生きたシャム猫が亡く
なり、幸子さんは新たにペッ
トを飼いたいと考えていたな
か、「シャム猫風」と見てビビ
ッときたそうです。
人見知りですが、家族には
心を許しているレオくん。家
族団らん時は必ず夫の登志
弘さんの膝の上。話を聞くよ
うに寄り添います。「暑い
に乘ってくる」と言いつつ、
まんざらでもなさそうです。
ごはん係りの幸子さんは、
キャットフードにかつお節木登りとブラッシングが
大好きですニャー♪庭の木に登ることが大好きなレオくん。
初めは降りられなかったものの、今では
すいすい大得意。ブラッシングも大好き
で、毎朝おねだりする姿に家族は癒され
ています。お迎え当時は体毛が真っ白で
先代と見た目がそっくり!
成長につれ、茶色く長く、
フワフワになりました。